

1 背景・目的

市では、中心市街地活性化プラン（平成24年度～令和2年度）に基づく取組をはじめ、市内における世界的なスポーツイベントの開催や、トリエ京王調布やイオンシネマシアタス調布の開業を好機と捉え、多様な主体と連携して、調布駅を中心とした地域経済活性化に取り組んできました。

また、新型コロナウイルス感染症の流行以降は、中小企業事業資金融資あっせん事業の拡充をはじめ、市内消費喚起策や感染予防対策への補助など、感染症の影響を受ける事業者支援につながる取組について、商工会と連携しながら、機動的に対応し、地域経済の再活性化に努めてきました。また、感染症対策を徹底し、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」などの地域資源を活用した観光施策に取り組んできました。

⇒こうして推進してきた各種取組について、コロナ後の社会潮流を捉えつつ、調布市基本計画（以下「基本計画」とする。）を踏まえたうえで、体系的に整理し、各施策の推進による「集客」「回遊」「消費」の循環の生成をテーマに、総合的な産業振興につなげるための（仮称）調布市産業振興プラン（以下「プラン」という。）を策定します。

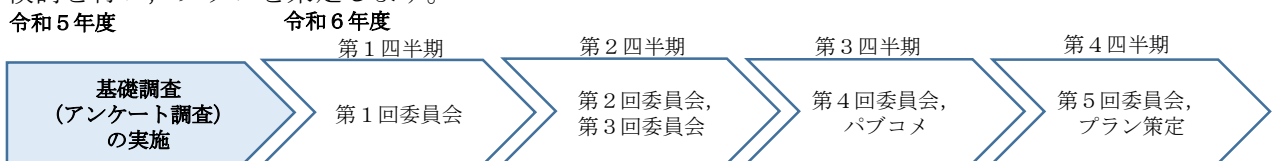
2 市におけるこれまでの産業振興に向けた取組

Table with 2 columns: Category (e.g., 商工業振興, 観光振興, 事業者支援, 雇用・就労の支援) and Description of activities.

3 スケジュール（予定）

令和5年度は、市民の購買行動やニーズ、事業者の経営状況や行政に求める支援策、来街者の実態や意向等を把握するため、市民・市内事業者・来街者への基礎調査（アンケート調査）を実施しました。

令和6年度は、学識経験者、観光・商業支援団体関係者、創業・就労支援団体関係者、市内交通事業関係者、市内金融機関関係者及び公募市民で構成された策定検討委員会にて、必要な事項の調査・検討を行い、プランを策定します。



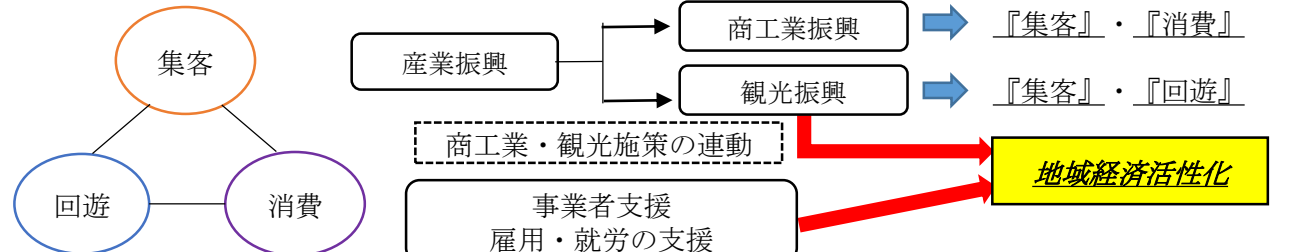
4 プランの構成案

- 1 序章 プランの位置付け・目的等を記載
2 これまでの取組 これまでの取組を体系的に整理して記載

3 現状・課題

市内事業者の実態 (令和2・3年度の事業所経営実態調査や令和5年度の基礎調査の結果のほか、地域経済対策会議、産業労働支援センターでの経営相談等におけるヒアリング内容により、現状・課題を把握)
消費行動の分析 (令和5年度の基礎調査において、産業振興に特化した内容で市民の意見を聴取することで、地域経済活性化に向けた現状・課題を抽出)

4 地域経済活性化に向けた取組の基本的な考え方



5 今後の取組指針について

Table mapping specific measures (e.g., 商工業振興, 観光振興, 事業者支援, 雇用・就労の支援) to their intended outcomes (e.g., 集客・消費, 集客・回遊, 集客・回遊・消費の循環を下支え).

5 プランの分類

プランは、調布市基本構想（以下「基本構想」という。）及び基本計画の内容を踏まえたうえで、産業振興における市の基本的な考え方を定め、急速に変化する社会潮流を捉えつつ、市の実情に即した産業振興施策を推進していくための指針とします。そのため、各自治体の計画策定で見られるビジョンタイプ・プランタイプのうち、ビジョンタイプとしての策定検討を行います。

Comparison table between 'ビジョンタイプ' (Vision Type) and 'プランタイプ' (Plan Type) regarding directionality, duration, and indicators.

6 プランの計画期間・成果指標

本プランは、現行の基本構想（令和5年度から令和12年度まで）の期間を踏まえ、計画期間を令和7年度から令和13年度までの7年間とします。改定時期は、原則として、新たな基本構想の初年度とし、基本構想や基本計画の内容を踏まえたうえで、内容の検討を行います。したがって、プランの期間は、基本構想の年数に合わせます。

また、ビジョンタイプで策定を検討しており、施策については、原則として、基本計画（施策10, 17, 19）に基づき推進することから、成果指標については、基本計画におけるまちづくり指標に基づくこととし、本プランにおいては成果指標を定めませんこととします。